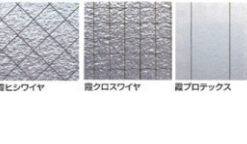


■特殊板ガラス製品の熱性能等に関する取扱い

ガラスの種類	ガラスの説明	写真、構造図	モデル建物法等で選択できるガラスの種類に係る扱い		窓ガラス、窓全体の熱性能算出に係る試験方法		留意事項	ガラス製品の例	
			U値	η 値	U値	η 値		会社名	製品名
セラミックプリント付きガラス	ガラス表面にセラミック塗料をシルクスクリン等で印刷し熱処理により焼き付けたガラス		Low-E三層複層ガラス、Low-E二層複層ガラス、三層複層ガラス、二層複層ガラス、単板ガラスを構成する、セラミックプリントがない透明フロートガラスとして扱う。	Low-E三層複層ガラス、Low-E二層複層ガラス、三層複層ガラス、二層複層ガラス、単板ガラスを構成する、セラミックプリントがない透明フロートガラスとして扱う。	JISR3107に定める算定方法により求める。	セラミックプリント部分と透明部分を、それぞれJISR3106に定める算定方法により求め、印刷部と透明部の面積荷重平均で算定する。	現場検査において、印刷部と透明部の面積比率を配慮した性能値の確認はメーカーへの問い合わせが必要な場合がある。	AGC	セラプリライト
型板ガラス	ロールアウト製法によりガラスの片面に型模様をつけ、光を通し視線を遮るガラス		Low-E三層複層ガラス、Low-E二層複層ガラス、三層複層ガラス、二層複層ガラス、単板ガラスを構成する、光拡散がない透明フロートガラスとして扱う。	Low-E三層複層ガラス、Low-E二層複層ガラス、三層複層ガラス、二層複層ガラス、単板ガラスを構成する、光拡散がない透明フロートガラスとして扱う。	JISR3107に定める算定方法により求める。	JISR3106に定める算定方法により求める。		AGC	型板ガラス
型板強化ガラス	型板ガラスを強化したガラス							AGC	
すり板ガラス	フロート板硝子の片面にすり加工を施した半透明ガラス		Low-E三層複層ガラス、Low-E二層複層ガラス、三層複層ガラス、二層複層ガラス、単板ガラスを構成する、光拡散がない透明フロートガラスとして扱う。	Low-E三層複層ガラス、Low-E二層複層ガラス、三層複層ガラス、二層複層ガラス、単板ガラスを構成する、光拡散がない透明フロートガラスとして扱う。	JISR3107に定める算定方法により求める。	JISR3106に定める算定方法により求める。		日本板硝子	
エッチング処理ガラス	サンドブラスト加工した表面をさらに化学処理によりエッチングをして仕上げたガラス							AGC	フロストグラス、ブラインドグラス、ノンクリアS
拡散系着色合わせガラス	2枚の板ガラスの間に乳白色や着色した光拡散特殊フィルムを加熱圧着した合わせガラス		Low-E三層複層ガラス、Low-E二層複層ガラス、三層複層ガラス、二層複層ガラス、単板ガラスを構成する、光拡散がない合わせガラスもしくは透明フロートガラスとして扱う。	Low-E三層複層ガラス、Low-E二層複層ガラス、三層複層ガラス、二層複層ガラス、単板ガラスを構成する、光拡散がない合わせガラスもしくは透明フロートガラスとして扱う。	JISR3107に定める算定方法により求める。	JISR3106に定める算定方法により求める。		AGC	カラーラミセーフ、ラミトーン
柄入りフィルム張りガラス	ガラス表面に和紙調のフィルムを貼りつけた半透明のガラス		Low-E三層複層ガラス、Low-E二層複層ガラス、三層複層ガラス、二層複層ガラス、単板ガラスを構成する、透明フロートガラスとして扱う。	Low-E三層複層ガラス、Low-E二層複層ガラス、三層複層ガラス、二層複層ガラス、単板ガラスを構成する、透明フロートガラスとして扱う。			フィルムを審査の対象としない。	AGC	やわらぎ
網入磨き板ガラス 線入磨き板ガラス	網入型板ガラス、線入型板ガラスの表面を研磨して、透明な視界を確保したガラス。防火設備に用いられる。		Low-E三層複層ガラス、Low-E二層複層ガラス、三層複層ガラス、二層複層ガラス、単板ガラスを構成する、透明フロートガラスとして扱う。	Low-E三層複層ガラス、Low-E二層複層ガラス、三層複層ガラス、二層複層ガラス、単板ガラスを構成する、透明フロートガラスとして扱う。	同厚の透明単板ガラスと同じとする。	網・線入板ガラス単体の日射特性は板硝子協会のWEBサイトに掲載した方法(※1)により算出し、その値を用いてJISR3106に定める方法により求める。		AGC	網入磨き板ガラス 線入磨き板ガラス
網入型板ガラス 線入型板ガラス	金網、金属線を封入して、ロールアウト製法により、ガラスの片面に型模様をつけたガラス。防火設備に用いられる。							AGC	

ガラスの種類	ガラスの説明	写真、構造図	モデル建物法等で選択できるガラスの種類に係る扱い		窓ガラス、窓全体の熱性能算出に係る試験方法		留意事項	ガラス製品の例	
			U値	η 値	U値	η 値		会社名	製品名
格子入り複層	2枚のガラスの間に格子を組み込んだ複層ガラス		/	/	JISR3107に定める算定方法により求める。	格子を除く同一仕様の複層ガラスの日射熱取得率をJISR3106で算出した後に、格子の面積と透明部の面積の比率を面積効果として補正する。(透明部を90%とする)	内部の格子はガラスに接していないので熱橋にはならない。	AGC	格子入り複層ガラス
変形ガラス	板形状ではなく、立体的な形状を持つガラス。		/	/	JISR3107に定める算定方法により求める。	JISR3106に定める算定方法により求める。		日本板硝子	プロフィリット(溝型ガラス)
真空ガラス	2枚のガラスの間を真空にして断熱性能を向上させたガラス。および、その派生製品群。		/	/	JISR3107に定める算定方法により求める。	JISR3106に定める算定方法により求める。ただし、中空層の熱コンダクタンスは経産省告示第235号(H26/11/28)3により求めた値を用いることとする。		日本板硝子	スぺーシア、スぺーシアクール、クリアFit、スぺーシア21、スぺーシア静・クール静
調光ガラス	2枚のガラスの間に特殊なフィルムを挟み込んだ合わせガラスで、電気信号や温度変化により透明度が変化する	(電気信号) 	Low-E三層複層ガラス、Low-E二層複層ガラス、三層複層ガラス、二層複層ガラス、単板ガラスを構成する、光拡散がない合わせガラスもしくは透明フロートガラスとして扱う。	Low-E三層複層ガラス、Low-E二層複層ガラス、三層複層ガラス、二層複層ガラス、単板ガラスを構成する、光拡散がない合わせガラスもしくは透明フロートガラスとして扱う。	JISR3107に定める算定方法により求める。	透明となる通電状態でJISR3106に定める算定方法により求める。	実際には、通電、非通電の違いは、熱性能には影響はないが、測定条件を規定するために、透明に見えている通電状態と規定する。	日本板硝子	ウム(瞬間調光ガラス)
		(温度) 	Low-E三層複層ガラス、Low-E二層複層ガラス、三層複層ガラス、二層複層ガラス、単板ガラスを構成する、光拡散がない合わせガラスもしくは透明フロートガラスとして扱う。	Low-E三層複層ガラス、Low-E二層複層ガラス、三層複層ガラス、二層複層ガラス、単板ガラスを構成する、光拡散がない合わせガラスもしくは透明フロートガラスとして扱う。	JISR3107に定める算定方法により求める。	夏期一次エネ室内条件となる26℃でのJISR3106に定める算定方法により求める。	温度により状態変化するため、温度を規定して測定することとする。		ラミシェード(サーモクロミック調光ガラス)
特殊ガス入り複層ガラス	防音性能の高い複層ガラス。JISR3107に記載されていないガスを用いている		/	/	封入された気体の物性値を用いてJISR3107に定める算定方法により求める。	封入された気体の物性値を用いてJISR3106に定める算定方法により求める。	ネオン等の特殊な気体封入	セントラル硝子	ペアレックスソネス ネオ
電磁波シールドガラス	導電性金属メッキポリエステルネットを2枚のガラスに挟み込んだ合わせガラス		/	/	JISR3107に定める算定方法により求める。	同厚、同種の合わせガラスの日射熱取得率をJISR3106で算出した後に、導電性ネットと透明部の面積の比率を面積効果として補正する。(透明部を60%とする)		日本板硝子	マグベーン
								セントラル硝子	エミュレス

※1: 網や線の無い透明フロート板ガラスの分光特性(透過率、反射率、吸収率)を網・線の面積で補正して、網・線入板ガラスの単板の分光特性を作成する。(面積補正の係数は板協WEBサイト <http://www.ecoglass.jp/residential-building/> で公開)

本資料について

建築物省エネ法に基づく省エネルギー基準の評価を行う際には、国立研究開発法人建築研究所のホームページ(<http://www.kenken.go.jp/becc/index.html>)で公開されているWebプログラムに当該建築物の外皮や設備の仕様を入力して、エネルギー消費性能を算出する必要があります。この際、窓ガラスの熱性能(熱貫流率、日射熱取得率)については、予め「ガラスの種類」毎に定められた規定値を選択するかJIS、ISOで規定された方法で算出した値を入力することが求められている。

このリストは、JISやISOに準拠しているか明確ではない特殊な板ガラス製品について、その熱性能等に関する取り扱いを、関係機関と協議のうえ、定めたものである。

改訂履歴: 2017.9 公開

2018.7 旭硝子→AGC 社名変更